

重点化課題を抽出するための視点(評価軸)(案)

資料3

以下の視点に基づき総合的に勘案・評価して重点化課題を抽出する。

【内容面】

(1) 期待される効果(経済的効果、社会的効果)が十分に大きいものかどうか

- ・ 経済価値で評価できるもの(産業競争力)⇒極力定量評価
- ・ 経済価値で評価できないもの(安全、幸福、豊かさ、利便性)⇒定性的、相対的評価
 - * 需要・市場の大きさ(国内外の総売上高、受益者の数等)、雇用増等

(2) 期待される効果の発揮に貢献できる取組であるかどうか

- ・ 当該取組の科学技術(含むシステム改革)によるブレークスルーが、課題解決、達成に必要不可欠である

(3) 当該分野の国際的位置付け(政策上の位置付け、技術競争力の優位性等)を把握した上で、我が国として重点的に推進すべきものと言えるかどうか

- ・ 我が国に強みがあり、世界で貢献できる可能性が高い
 - * 研究開発ランキング等

(4) 緊急性が高い取組かどうか

- ・ 政策的対応の緊急性が国内外において高い
- ・ 外部環境、競争環境や状況が変化し、緊急性、必要性が増した

(5) 国と民間等との役割分担を考慮した上で、国において実施する必要性が高いものであるかどうか

- ・ 防災、安全保障等の国の本来業務である
- ・ 受益者が多様・多数、不特定(共通的な基盤技術、死の谷克服に向けた実用化課題等である、重要な経済社会インフラに係る技術)
- ・ 事業化までに長期間を要するなどリスクが大きい(アーリーステージの基礎課題等)

(6) 新成長戦略や日本再生の基本戦略等国家戦略に貢献するものであるかどうか

【形態面】

(1) パッケージ化する必要性が高いかどうか

- ・ 府省間・府省内、産官学の連携が必要である
- ・ 複合的な施策、総合的な取組が必要である

(注) 上記*に記載する事項は、詳細な抽出の視点(評価軸)の例(極力定量化)